

資 料

「職業リハビリテーションにおける課題分析の活用に関する研究」
に係る調査のお願い

「職業リハビリテーションにおける課題分析の活用に関する研究」 に係る調査のお願い

障害者職業総合センター研究部門（障害者支援部門）では、広域及び地域障害者職業センター等の職業リハビリテーション機関において、事業主援助業務の一環として行われている作業工程の調整に関する提案の一助とするため、課題分析の手法に焦点をあて、課題分析ソフト「TaskArchitect」の活用可能性について検討を進めているところです。

この調査では、広域及び地域障害者職業センターの通常業務の過程において、障害者職業カウンセラーによって収集されている事業所内の作業工程に関する情報を収集することを目的としています。つきましては、ジョブコーチ支援や事業主支援業務等での事例を基に、回答例を参考にしながら別添の調査用紙にご回答下さい。ご回答いただきましたデータにつきましては、事業主援助業務等に活かせるよう整理し、提供したいと考えております。

なお、調査用紙を作成するために、改めて事業所訪問等をしていただく必要はありません。また、ご回答いただきました内容を、本調査以外の目的に使用したり、企業や個人が特定されるような結果の取りまとめを行うことはありませんので、御理解いただきますようお願いいたします。

＜回答に際しての問い合わせ＞

この調査についてのお問い合わせは、下記の電話またはメールにて担当者宛てにお願いいたします。

また、返信いただきました内容について、担当者から問い合わせをさせていただくことがございますので、対応方、よろしくお願いいたします。

＜回答に際してのお願い＞

選択項目がある設問は、プルダウンメニューから回答を選択して下さい。

回答をいただくデータ数については、特に指定はありませんが、様々な業種の作業工程に関する情報を求めています。また、作業工程は1つの作業における工程だけでなく、複数の作業からなる職務の工程についての情報も広く求めています。回答は任意となっておりますが、皆様のご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた調査用紙は、平成19年11月 9日（金）までに、下記メールアドレスまでご返信いただきますようお願いいたします。

障害者職業総合センター（障害者支援部門）
担当：加賀 信寛・位上 典子・小松まどか
TEL:043-297-9029
E-mail:psdiv@jeed.or.jp

I. 課題分析について：回答していただくカウンセラー個人の経験についてお尋ねします。

(1) これまで業務の中で、課題分析を活用したことがありますか？

1. ある 2. ない

回答欄

(2) 「職場適応環境調査・分析票」(報告書No.73『職業リハビリテーションにおける課題分析の実務的手法の研究』(巻末資料))の利用についてお答え下さい。

1. 利用したことがある 2. 利用したことがない

回答欄

「1. 利用したことがある」と答えた方にお尋ねします。

(3) どの項目を利用しましたか？(複数回答可)

1. 事業所の概要 2. 対象者の職務概要等 3. 本人の職務に関する課題分析 4. 不適応行動の機能分析
5. 本人の生活全般の概要

回答欄

(4) 利用した項目は何に有効でしたか？(複数回答可)

1. 課題分析 2. 事業所情報の把握 3. 本人情報把握 4. その他

回答欄

「4. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

(5) 「職場適応環境調査・分析票」を利用してどうでしたか？

1. 非常に利用しやすい 2. 利用しやすい 3. 利用しにくい 4. 非常に利用しにくい

回答欄

「2. 利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。

(6) 利用したことがない理由は何ですか？(複数回答可)

1. 分析票を知らなかった 2. 使いにくそうだった 3. 他の様式を使っている 4. 課題分析の必要性を感じない
5. その他

回答欄

「5. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

Ⅱ. 課題分析を活用した事例について

～回答にあたってのお願い～

以下の設問は、具体的に事業所の作業工程に関する情報を収集するものです。
回答にあたっては、以下の点に留意してご回答下さい。

- a. 作業工程以外の問題（労働条件や職場外の問題）のみにより不適応を起こしている事例は対象外として下さい。
- b. 「3 対象者の職務に関する課題分析」の（3）問題内容と対処方法は、作業遂行上の課題及び適応のために提案・実践した対処方法や変更した作業工程等を記入して下さい。
- c. 複数の作業からなる複数の作業工程に関しては、回答例①及び②を参考にして下さい。
- d. 1つの作業からなる作業工程に関しては、回答例②または③を参考にして下さい。
- e. 課題分析シートの作業工程の行が足りない場合は、必要な行数を挿入して使用して下さい。
- f. 複数事例の回答をいただける場合は、「3 対象者の職務に関する課題分析」シートを必要分コピーして下さい。

1 事業所の概要

（1）業種： 業種について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 農林業 2. 水産漁業 3. 鉱業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業
9. 卸売小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. 飲食・宿泊業 13. 医療・福祉 14. 教育・学習支援業
15. その他サービス業 16. 1～15以外の業種

回答欄

「16. 1～15以外の業種」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（2）企業規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄

（3）事業所規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄

2 対象者の概要

対象事業所に雇用されている障害者についてお答え下さい。事業所内で、複数雇用されている場合は、その中から1名の方を選んでお答え下さい。

（1）性別

1. 男 2. 女

回答欄

（2）年代

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代以上

回答欄

（3）障害種別

1. 身体障害 2. 知的障害 3. 精神障害 4. その他

回答欄

「4. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（4）職務： 従事している職務について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 専門技術職 2. 事務職 3. 営業職 4. 販売職 5. サービス職 6. 保安職 7. 農林漁業職
8. 運輸通信職 9. 生産労務職

回答欄

具体的な職名を回答欄にご記入下さい。

回答欄

3 対象者の職務に関する課題分析

[illegible]

☆お忙しい中、ご協力ありがとうございました☆

回答例①

★★★複数の作業からなる作業工程(1日の職務内容)を分析した例★★★

Ⅱ. 課題分析を活用した事例について

～回答にあたってのお願い～

以下の設問は、具体的に事業所の作業工程に関する情報を収集するものです。
回答にあたっては、以下の点に留意してご回答下さい。

- a. 作業工程以外の問題（労働条件や職場外の問題）のみにより不適応を起こしている事例は対象外として下さい。
- b. 「3 対象者の職務に関する課題分析」の（3）問題内容と対処方法は、作業遂行上の課題及び適応のために提案・実践した対処方法や変更した作業工程等を記入して下さい。
- c. 複数の作業からなる複数の作業工程に関しては、回答例①及び②を参考にして下さい。
- d. 1つの作業からなる作業工程に関しては、回答例②または③を参考にして下さい。
- e. 課題分析シートの作業工程の行が足りない場合は、必要な行数を挿入して使用して下さい。
- f. 複数事例の回答をいただける場合は、「3対象者の職務に関する課題分析」シートを必要分コピーして下さい。

1 事業所の概要

（1）業種

業種について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 農林業 2. 水産漁業 3. 鉱業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業
9. 卸売小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. 飲食・宿泊業 13. 医療・福祉 14. 教育・学習支援業
15. その他サービス業 16. 1～15以外の業種

回答欄 8. 運輸業

「16. 1～15以外の業種」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（2）企業規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 3. 101～300人

（3）事業所規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 1. 55人以下

2 対象者の概要

（1）性別

1. 男 2. 女

回答欄 1. 男

（2）年代

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代以上

回答欄 2. 20代

（3）障害種別

1. 身体障害 2. 知的障害 3. 精神障害 4. その他

回答欄 3. 精神障害

「4. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（4）職務

従事している職務について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 専門技術職 2. 事務職 3. 営業職 4. 販売職 5. サービス職 6. 保安職 7. 農林漁業職
8. 運輸通信職 9. 生産労務職

回答欄 2. 事務職

具体的な職名を回答欄にご記入下さい。

回答欄 事務補助

(1) 作業名		一日の職務
No	(2) 作業工程	(3) 問題内容と対処方法
1	出勤時のパソコン作業	毎日行う作業だが、手順が覚えられないため、手順書を作成し、それを見ながら作業ができるように支援した。
	(1) パソコン起動	
	(2) 出勤手続き	
	(3) スケジュール確認	
	(4) メールの確認	
	(5) 掲示板の確認	
2	経理の補助	全てパソコンで行うため、事前支援でパソコン操作の練習を行った。
	(1) 決議書入力	入力方法の手順書を作成し、それを見ながら作業ができるように支援した。
	(2) 物品伝票作成入力	入力方法の手順書を作成し、それを見ながら作業ができるように支援した。
3	総務の補助	
	(1) ホームページのメールチェック	
	(2) 巡視	どこを巡視し、何をチェックするかははっきりしなかったので、チェックリスト等を作った(回答②に詳細記載)
	(3) 別館との連絡業務	
	(4) 看板管理	
4	退勤時のパソコン作業	
	(1) 退勤手続き	
	(2) スケジュール確認	
	(3) メールの確認	
	(4) 掲示板の確認	
	(5) パソコンのシャットダウン	
(4) 作業環境等		
①使用する機械・道具等	a パソコン b _____	aの目的 (ｲﾝﾄﾗ、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、表計算、文書作成) bの目的 ()
②原材料・対象物	_____	
③製品・成果	_____	
④その他	1つ1つの作業で、作業がスムーズに行えるように工夫が必要である _____ _____ _____	

※事例①、②の作業工程は調査研究報告書No.73「職業リハビリテーションにおける課題分析の実務的手法の研究」より抜粋しました。

回答例②

★★★1つの作業について詳細に作業工程を分析した例★★★

Ⅱ. 課題分析を活用した事例について

～回答にあたってのお願い～

以下の設問は、具体的に事業所の作業に関する情報を収集するものです。
回答にあたっては、以下の点に留意してご回答下さい。

- a. 作業工程以外の問題（労働条件や職場外の問題）のみにより不適応を起こしている事例は対象外として下さい。
- b. 「3 対象者の職務に関する課題分析」の（3）問題内容と対処方法は、作業遂行上の課題及び適応のために提案・実践した対処方法や変更した作業工程等を記入して下さい。
- c. 複数の作業からなる複数の作業工程に関しては、回答例①及び②を参考にして下さい。
- d. 1つの作業からなる作業工程に関しては、回答例②または③を参考にして下さい。
- e. 課題分析シートの作業工程の行が足りない場合は、必要な行数を挿入して使用して下さい。
- f. 複数事例の回答をいただける場合は、「3対象者の職務に関する課題分析」シートを必要分コピーして下さい。

1 事業所の概要

（1）業種

業種について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 農林業 2. 水産漁業 3. 鉱業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業
9. 卸売小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. 飲食・宿泊業 13. 医療・福祉 14. 教育・学習支援業
15. その他サービス業 16. 1～15以外の業種

回答欄 8. 運輸業

「16. 1～15以外の業種」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（2）企業規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 3. 101～300人

（3）事業所規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 1. 55人以下

2 対象者の概要

（1）性別

1. 男 2. 女

回答欄 1. 男

（2）年代

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代以上

回答欄 2. 20代

（3）障害種別

1. 身体障害 2. 知的障害 3. 精神障害 4. その他

回答欄 3. 精神障害

「4. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（4）職務

従事している職務について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 専門技術職 2. 事務職 3. 営業職 4. 販売職 5. サービス職 6. 保安職 7. 農林漁業職
8. 運輸通信職 9. 生産労務職

回答欄 2. 事務職

具体的な職名を回答欄にご記入下さい。

回答欄 事務補助

3 対象者の職務に関する課題分析

(1) 作業名		ビル内の巡視
No	(2) 作業工程	(3) 問題内容と対処方法
1	地下2階を巡視する	<作業遂行上の問題>
	(1) 余暇室	①左の工程は、これまでの担当者の大まかな手順であり、決められたものではない。
	(2) 他に気になった場所を巡視する	②巡視の順番や場所は固定されておらず、どの部屋で何の設備を確認するかははっきり明文化していない
2	1階を巡視する	③これまでは担当者の時間があるときに実施しており、毎日定期的にはしていなかった。引き継ぎもない。
	(1) トイレ	<新しい工程>
	(2) 更衣室	1.巡視の手順書とチェックリストを準備する
	(3) 他に気になった場所を巡視する	2. 巡視を開始する箇所を確認する
3	2階	3. 順序に従い、巡視を始める
4	3階	(1) 地下2階（廊下以外、チェックリスト使用）
5	階段	①廊下、②移動書庫、③余暇室、④書庫
		(2) 地下1階廊下
		(3) 1階（廊下、車庫以外チェックリスト使用）
		①廊下、②食堂・厨房、③資料室、④トイレ、⑤玄関、
		⑥更衣室、⑦運転手控室、⑧車庫
		(4) 2階（全てチェックリスト使用）
		①小会議室、②トイレ、③給湯室、④中会議室
		(5) 3階（全てチェックリスト使用）
		①第一応接室、②第二応接室、③大会議室、④トイレ
		4. 階段
		5. 巡視結果を上司に報告し、設備のチェックリストを提出する
(4) 作業環境等		
①使用する機械・道具等	a 巡視場所と巡回順序のリスト	aの目的（経路の確認）
	b 設備のチェックリスト	bの目的（設備等の確認）
②原材料・対象物	各巡視箇所	
③製品・成果	ビルの設備維持、管理	
④その他	これまでの担当者は特に巡視順序は決めておらず、毎日行うわけでもなかった。設備のチェックは多岐に渡るため、何を確認するかあらかじめリスト化したほうがわかりやすい。	

☆お忙しい中、ご協力ありがとうございました☆

<注意>

回答例②は、回答例①の作業工程No3「総務の補助（2）巡視」を抜粋し、さらに詳しく分析したものです。可能であれば、全体の職務と共に、回答例②または③を参考に、各作業に関する作業工程についても詳しく書いていただくと幸いです。

※事例①、②の作業工程は調査研究報告書No.73「職業リハビリテーションにおける課題分析の実務的手法の研究」より抜粋しました。

回答例③

★★★1つの作業について簡便に作業工程を分析した例★★★

Ⅱ. 課題分析を活用した事例について

～回答にあたってのお願い～

以下の設問は、具体的に事業所の作業に関する情報を収集するものです。
回答にあたっては、以下の点に留意してご回答下さい。

- a. 作業工程以外の問題（労働条件や職場外の問題）のみにより不適応を起こしている事例は対象外として下さい。
- b. 「3 対象者の職務に関する課題分析」の（3）問題内容と対処方法は、作業遂行上の課題及び適応のために提案・実践した対処方法や変更した作業工程等を記入して下さい。
- c. 複数の作業からなる複数の作業工程に関しては、回答例①及び②を参考にして下さい。
- d. 1つの作業からなる作業工程に関しては、回答例②または③を参考にして下さい。
- e. 課題分析シートの作業工程の行が足りない場合は、必要な行数を挿入して使用して下さい。
- f. 複数事例の回答をいただける場合は、「3対象者の職務に関する課題分析」シートを必要分コピーして下さい。

1 事業所の概要

（1）業種

業種について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 農林業 2. 水産漁業 3. 鉱業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業
9. 卸売小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. 飲食・宿泊業 13. 医療・福祉 14. 教育・学習支援業
15. その他サービス業 16. 1～15以外の業種

回答欄 15. その他サービス業

「16. 1～15以外の業種」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（2）企業規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 2. 56～100人

（3）事業所規模

従業員数（常用労働者数）について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 55人以下 2. 56～100人 3. 101～300人 4. 301～500人 5. 501～1000人 6. 1001人以上 7. 不明

回答欄 2. 56～100人

2 対象者の概要

（1）性別

1. 男 2. 女

回答欄 2. 女

（2）年代

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代以上

回答欄 2. 20代

（3）障害種別

1. 身体障害 2. 知的障害 3. 精神障害 4. その他

回答欄 2. 知的障害

「4. その他」を選んだ場合には次の回答欄に具体的にご記入下さい。

回答欄

（4）職務

従事している職務について該当する回答項目をお選び下さい。

1. 専門技術職 2. 事務職 3. 営業職 4. 販売職 5. サービス職 6. 保安職 7. 農林漁業職
8. 運輸通信職 9. 生産労務職

回答欄 5. サービス職

具体的な職名を回答欄にご記入下さい。

回答欄 クリーニング工

3 対象者の職務に関する課題分析

[illegible]

☆お忙しい中、ご協力ありがとうございました☆

視覚障害その他の理由で活字のままでこの報告書を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。

その際は、下記までご連絡下さい。

障害者職業総合センター 企画部企画調整室

電話 043-297-9067

FAX 043-297-9057

なお、視覚障害者の方等でこの報告書（文書のみ）のテキストファイルをご希望されるときも、ご連絡下さい。

調査研究報告書No. 82

職業リハビリテーションにおける課題分析の活用に関する研究

編著・発行 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター
〒261-0014
千葉県美浜区若葉3-1-3
電話 043-297-9067
fax 043-297-9057

発行日 2008年3月

印刷・製本 勝美印刷株式会社
